

# ふるさと銀河線跡地整備に向けて

—市街地区銀河線跡地想像図での意見交換会から—

平成18年4月20日にふるさと銀河線が廃止となり7年が経過しました。町では、この廃止により残された銀河線跡地を有効活用するため、「ふるさと銀河線跡地利用計画」を策定し、旧境野駅周辺整備事業、旧置戸駅構内整備事業（イベント広場、駅前ロータリー、町道宮下中央通り線）などの跡地整備を進めてきました。また、去年は置戸市街地区の整備を進めるにあたり、議論のたたき台として「市街地区銀河線跡地想像図」を作成し、皆さま方から多くのご意見をいただきました。これらご意見を踏まえた上での、町として今後の事業の進め方等についてお知らせします。

## ●想像図に描かれた事業の進め方は

置戸町総合計画を基本に、事業の緊急性や優先度などを考慮し、いくつかのエリアごとに進めることとなります。事業内容は、都度、意見交換の場を設けながら進めます。また、他の事業との予算調整を行いながら、事業に係る財源確保を図ります。

## ●鉄路を利用したプロムナードとは

鉄路を利用した遊歩道のようなイメージで、大通り商店街と森林工芸館などを結ぶ巡回ロードの機能を持たせ、プロムナード周辺には大通り商店街の花と調和の取れたお花畑などの配置を予定しています。

## ●イベントや周辺公共施設との調整は

本年度、基本設計を行うエリアには、夏まつりの来客、スポーツセンターグラウンドや生涯学習情報センター利用者の駐車スペースがあります。現状を把握し、利用者の利便性を考慮した駐車スペースの確保に努めます。

## ●宮下町内より学友橋の間は

宮下町内から北見側の跡地の一部（宮下町内隣接地）は、環境整備のため盛土の撤去を予定しています。学友橋上手は、常呂川の護岸としての役割があり、当面、現状のままと考えています。

## ●公営住宅用地としての利用は

「公営住宅長寿命化計画」に基づく、公営住宅の建て替えを予定しています。この建て替え場所については、多くの皆さま方から跡地への建設要望が寄せられたことから、福祉センター裏側の跡地に、平成25年度より建設（H25～3棟6戸、H

26～2棟4戸）を開始します。あわせて、生涯学習情報センター通り線の延長工事も行います。

## ●学友橋下手の活用は

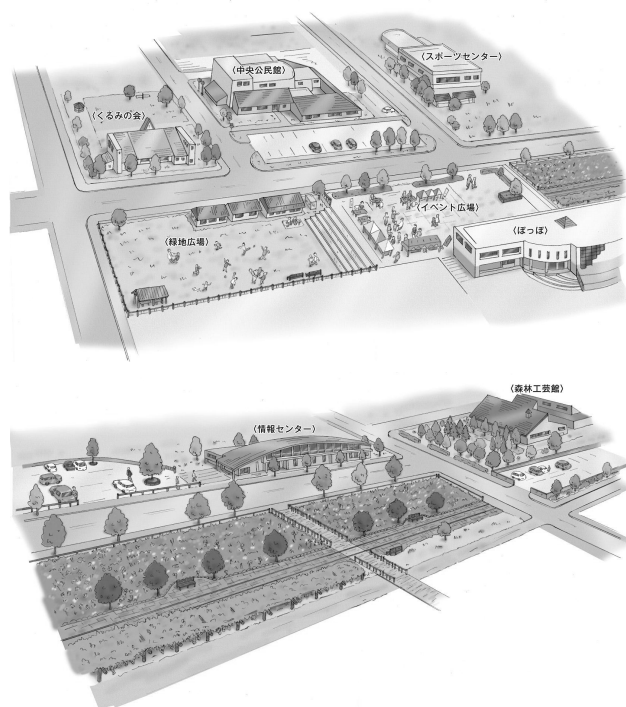
鉄道記念公園としての構想がありますが、国道、道道、町道のほか、河川用地が交差している場所で、利用にあたっては制限が厳しく、課題も多々あります。今後、関係機関との調整を行いながら、活用方法について検討を進めます。

## ●森林工芸館周辺整備の考え方は

森林工芸館の増改築やクラフト体験研修施設の建設、また、隣接する国栄裏通り線の改修などを描いています。今後、クラフトエリアとして活用する場合の将来像や、他の公共施設とのバランスなどにも配慮した検討が必要と考えています。

本年度の基本設計は、イベント広場付近から生涯学習情報センターまでの整備を想定したものです。年内の設計完了を目指していますが、中間でワークショップなどを取り入れ、皆さま方からのご意見も反映させる予定です。今後も、全体としての将来像を視野に入れながら、エリアごとに整備を進めていきます。

## ■本年度基本設計予定エリア



【詳細】町づくり企画課企画係（☎52-3312）